

継続すること それが目標

種田克彦さん(高野町)は、15年ほど前から始めた正月向けのしめ縄づくりを、毎年欠かさず続けています。約2000本のわらを使い丸2日以上かけて、1個を作り上げます。今年は50個を作成。知人、友人、地域の方に無償で送り届けています。

2 年頭のあいさつ

4 特集 うまい!庄原の「米」

10 お忘れなく!市・県民税の申告

14 休日診療センターの整備を進めています

15 市長・市議会議員選挙投票日は4月7日
スポーツ推進委員功労者表彰

16 庄原市森づくり事業参加者募集

市職員追加募集/シリーズ「私にもできる獣害対策」

18 シリーズ「庄原市まちづくり基本条例」/広告主募集

19 安心安全な毎日のために

20 市職員の給与などを公表

22 市政トピックス

24 カメラレポート 28 健康広場 29 お知らせ

輝かしい1年のスタート

協働のまちづくりで笑顔あふれる「庄原市」へ

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より市議会に対し格段のご理解とご支援を賜るとともに、貴重なご意見をいただき、改めて厚くお礼申し上げます。

昨年は、国政においては、混乱と停滞により国民の政治不信が深まる中、年末には衆議院議員総選挙が行われ、新たなかたちでの政治が始まろうとしています。一日も早く本筋での議論がなされ、国民生活の安定につながることを強く望むものです。

本市では、合併8年目の春を迎えようとする今日、少子高齢化という最大の課題を克服しなければならない状況にあって、各種施策の実施に併せ自治振興区を中心とする協働のまちづくりが着実に進展し、まちはみんなで作るという意識のもと、地域が『共助の社会』へと大きく動き出し、市の姿が変わりつつあることを実感しています。

市議会におきましても、市民の負託に的確に応えるため、議長就任以来『成長する議会』をスローガンに掲げ、議会の活性化に努めています。

市議会基本条例の制定に始まり、議会報告会・議会改革懇談会の開催や議案審議における賛否状況の公開、さらには議員定数の削減、政務活動費制度の検討など、着実にその取り組みを進めています。議会報告会などでは厳しいご意見をいただくこともございますが、しっかり勉強しがんばれ、という温かい励ましの言葉も頂戴しています。

本年4月には、市議会は改選期を迎えます。議員それぞれに志新たに心一つにして、懸命に努力する覚悟です。今後とも協働の精神でまちづくりを進めるため、市民の皆さまには積極的に市政に参加くださいますようお願いいたします。

新たな年を迎え、市議会に対しまして一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまにとってこの一年が笑顔あふれる年となりますよう、心より祈念申し上げます、新年のあいさつとさせていただきます。

美しい日本のふるさと「庄原市」の実現を

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えることと、心からお慶び申し上げます。

また、平素から市政に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年は庄原保育所、高野保育所、とうじょう自治総合センターが春までに竣工する予定で、庄原小学校、庄原中学校、東城小学校の改築、耐震化も着実に進んでいます。

また、休日診療センターの整備や庄原市赤十字病院二期棟もこの春竣工が予定されており、施設機能と医療体制の充実が図られます。

さらに、平成26年度全線開通を目標に建設中の中国横断自動車道尾道松江線は、三次JCTから吉田掛合IC区間の供用開始、高野ICに接続する「道の駅たかの」の完成も間近に控え、みんなが長年抱いていた夢や希望、期待が、大きな形になる記念すべき年になります。

平成14年12月に旧庄原市の市長に就任して以来、合併を挟み10年が経過しました。その間、お互いが支え合い、助け合って共に生きることを、まちづくりの基本理念として取り組み、とりわけ合併後は「一体感の醸成」と「一体的な発展」に渾身の努力を傾注してまいりました。また、「自らの町は自ら守り、自ら創る」の理念のもと、市民の皆さんと一体となった協働のまちづくりを進めるため、その礎となる自治振興区の育成、活動支援に力を尽くしてまいりました。昨年4月にはこれらの理念が「まちづくり基本条例」として明文化され、さらなる協働のまちづくりが進むものと期待しています。

これまで、多くの課題に直面しながらも市政を運営できましたことは、市民の皆さんのご理解とご支援の賜物と深く感謝いたします。

残された任期を、市民の皆さんが幸せを感じ、夢と誇りをもって「美しい日本のふるさと」と呼べる庄原市の実現へ向け、全力で取り組んでまいります。

最後に、この一年が市民の皆さまにとって幸多き年となりますことを心から祈念し、新年のごあいさつといたします。

庄原市議会議長
竹内光義



庄原市長
滝口季彦





表彰を受ける高橋さん



山内小学校金賞受賞報告



表彰を受ける山内自治振興区

第14回米・食味分析鑑定コンクールで金賞ダブル受賞

国内最大規模のコメのコンクール「第14回米食味分析鑑定コンクール(長野県木島平村11月22日・23日開催)」に高橋努さん(高野町)が出品した「ミル

キークイーン」が金賞を受賞。平成17年度から総合部門、都道府県選抜代表、品種別部門などで、8年連続の入賞となりました。

また、今年には山内小学校が市内の小学校として初めて学校田部門に出品し、見事金賞を受賞しました。

大阪府民のいっちゃんうまい米コンテスト2年連続最優秀賞

「第2回大阪府民のいっちゃんうまい米コンテスト(大阪府吹田市11月1日~18日開催)」に山内自治振興区米つくり研究会が出品した「あきさかり」が、最優秀賞となる「いっちゃんうまい賞」に輝きました。昨年は東城町の藤本農園が同賞を受賞しており、庄原のコメが2年連続で最優秀賞受賞という結果に、関係者は驚きと共に喜びに沸いています。

Competition Winners

品質で高い評価!

「米」コンクールで入賞続々!

日本人の主食「コメ」。多くの産地、品種があるコメの中から、庄原産のコメが高い評価を受けています。



給食で新米をほお張る山内小学校の5年生

特集

うまい! 庄原の「米」

おいしい「米」が食べたい
安全・安心な「米」が食べたい

その気持ちにこたえる人たちが庄原にはいます
こだわりのコメ作りにかける思いを
「米」コンクール入賞の喜びと共に紹介します

米・食味分析鑑定コンクールとは?

米・食味鑑定士協会が主催するコメの全国大会で、平成11年から始まり、平成20年から国際大会として開催されています。平成24年のコンクールでは、3915点ものコメが出品された権威のある大会です。平成17年度以降、総合部門や品種別栽培、都道府県代表などで、庄原産のコメが8年連続で入賞しています。(金賞5回、特別優秀賞6回)

大阪府民のいっちゃんうまい米コンテストとは?

日本米穀小売商業組合連合会やお米マイスターなどが組織する実行委員会が主催するコンテスト。全国のコメが集まる天下の台所大阪で、味と値段に厳しい実力主義のコンテストです。大阪のお米マイスターの米穀店が参加しているため、良い結果が出れば販路を開拓できる可能性があります。(第2回大会:37都道府県から306点の出品)

【審査方法】

これらの大会では、機械による食味値の計測の後、食味鑑定士やお米マイスターなどが実際に炊いたコメを食べて審査するのが主流です。

こだわりのコメ作り

コンクールで入賞するほどの「コメ」を作るには、
何が必要なのでしょう。
コメ作りにかかる思いとそのこだわりを聞きました。

環境 + 工夫 + 熱意

和牛飼育農家でもある藤本さんのコメ作りのこだわりは、何と言っても自家製和牛堆肥による土作り。土壌診断を行いながら、新技術の比較検討を地域と共に研究を重ね、何よりも安全・安心なコメ作りを追求しています。

株式会社藤本農園
代表取締役 藤本聡さん(東城町)



昨年度創設された「大阪府民のいっちゃんうまい米コンテスト」で初代「いっちゃんうまい賞」を受賞した藤本さん。「自分の作るコメで、家庭の食卓に笑顔運べるようになりたい」との思いを込めた「一粒万笑」をテーマにコメ作りを実践しています。

CASE

2

目に見える安全・安心を追求

そのこだわりで、合鴨農法(※1)や温湯種子消毒(※2)など環境にやさしい農業に取り組みその技術を確立。すべてのほ場で、地域で慣行的に行われている農薬、化学肥料の使用量より5割以上を抑えて生産し、県の認証制度「安心! 広島ブランド」の認証を受けています。「そういった目に見える安心をお客さんに知ってもらうよう努力したことがこの受賞にもつながったのだと思う。この賞をいただいたことで、馴染みのお客さんにも喜んでもらえ、自分たちも自信を持って売り出せるようになった」と胸を張ります。

「おいしくて、安全、安心なコメであれば消費者は新しいコメでも受け入れてくれる」と藤本さん。庄原が立て続



粟田小学校の田植体験(合鴨の進水)



藤本さんは展示圃を設置して毎年研修会を開催したり、地元の小中学生を呼んで田植え交流会などを開催したりするなど、食農教育にも力を注いでいます。都市部の消費者と農村の生産者を結び取り組みも続けています。

けに賞を獲得したことによって「コメの勢力図」が変わるのではと期待しています。「もともと広島、庄原のコメを売り出していくべきだと思う。天下の台所と言われる大阪と顔の見える関係を築くことができれば、みんなそのことに誇りを持ってコメ作りができるようになると思う」。受賞後は、いっちゃんうまい米を求められることが増え、現在は藤本さんのコメを取り扱う業者も増えたといいます。「受賞をきっかけに消費者の声を直接聞けた。長い付き合いのできるお客さんが増えたことは生産者としてとても幸せ」。その喜びを力に、さらに消費者が求める理想のコメを追い求めていきます。

※1：合鴨農法とは？ 合鴨は、主に食肉用に飼育されていた鳥ですが、水田に放すことで雑草を食べてくれたり、害虫を駆除してくれたことから、農業を問わず安全なコメづくりができることで知られている農法です。
※2：温湯(おんとう)種子消毒とは？ 薬剤を使用せず約60℃のお湯に種もみを一定時間浸して消毒する方法。

CASE

1

竹パウダーと地域力をブレンド



山内自治振興区 米づくり研究会(山内町)

山内自治振興区が取り組んでいるコメ作りの特徴は、「竹パウダー」を活用した土作り。里山整備で切り出される竹をパウダー状にし、牛ふんと混ぜて肥料にします。事務局長の実安裕美さんは「山内では竹が群生しその処理に悩まされていた。これを肥料として活用できれば、皆さんも利用していただけるのではと考えた」ときっかけを話します。「初めて収穫したコメがおいし

かった。だけど、自分たちがいくら「このコメはおいしい」と言っても評価してもらえない。それならば客観的に評価してもらおう。そう考え、全国的な米コンクールへの出品を始めました。JA庄原市県立広島大学の協力を得ながら、研究と土壌改良を重ねた結果、年々コメの食味がアップ。3年目となり一定の手応えを感じていた昨秋、大阪府民のいっちゃんうまい米コンテストで最優秀賞に選ばれました。「自信はありましたが、まさか最優秀賞とは思っていませんでした」と研究会代表の松田一馬さんは驚きます。この受賞で一気に注目され、多くの問い合わせを受けるようになりました。有名デパートでの販売も決定。今後、さらに取引が広がっていくものと期待しています。

山内は、同研究会をはじめ、個人や営農集団などがそれぞれ竹パウダーを活用したコメ作りに取り組んでいる地域。品質を維持するため、堆肥をまく量や時期などを細かく決めたマニュアルを作り、25年産米から統一して取り組む予定です。「よい食味や品質を保持することがブランド化には必要。それを生産者の人にも理解してもらいな

がら、信用されるコメを作っていく」と力を込めます。今後、30畝を目標に面積拡大を目指します。「竹パウダーを各農家でもっと利用してもらい、山内ブランド米「里山の夢」作りに参加してもらいたい」。ブランド化が、コメ価格アップ、生産者の意欲向上につながるのではと期待を寄せる研究会メンバー。「山内は標高が低く、おいしいコメが出来にくいところ。しかし、やり方によつてはおいしいコメができる。1回きりではまぐれだと言われるので、もう1年挑戦したい」と燃えています。

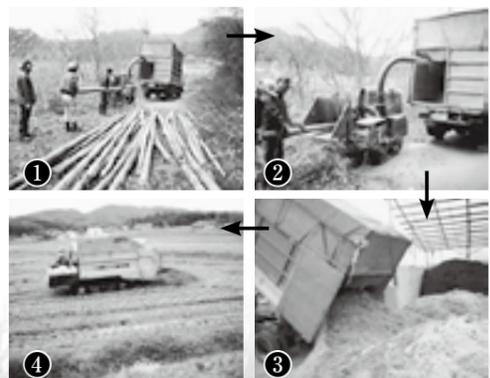
指導した山内小学校の受賞を喜ぶ

山内小学校では地域に住む市川チエ子さんの田おこしを借りて、主に5年生が総合的学習の時間でコメ作りを行っています。市川さんはこれまで



5年生は田おこし、田植え、水の管理、稲刈りなど一連の工程をすべて手作業で行った

11年間、児童にコメ作り指導を行い、その心得を説いてきました。「ただ教えるだけではなく、疑問に思ったら家に帰っておいちゃんやおばあちゃんに聞くように言っている」と市川さん。家庭でコメ作りの話題が上がることで、家族円満にもつながっているのだそう。同校の兼丸裕子校長は「このように豊かな経験ができる場所はなかなかないと思う。将来農業の道に進みたいという子も出てきた」と農業への関心が深まっていると感じています。そこに今回のコンクール金賞という報告が届きました。「市川さんの協力に、自治振興区の取り組みが加わったことで好結果に結びついた」と兼丸校長。この結果に5年生全員が「びっくりした」と驚きながらも「作業は大変だったけど、地域の人たちのおかげ」と感謝しています。



①竹の切り出し ②竹の粉砕
③竹肥料製造 ④竹肥料散布

CASE 3 消費者の喜びが生産者の喜びが



高橋農園
高橋 努さん (高野町)

「コメ作りはとにかく手を掛けてやるか」。コメ作りにおける思いは人一倍の高橋さん。米コンクールの国際大会で8年連続入賞したその秘訣を「こうすれば食味が良くなるという確証はないが、何よりも土作りが大切」と話します。

田んぼで出来るワラやもみ殻、ヌカなどの廃棄物をそのまま一反に返す自然循環型農業を実践しています。「もみ殻堆肥の効果はすぐには出るものではないが、続けることで粘りのある土になり、水もちのいい田んぼになる」と高



授賞式後、他の受賞者と記念撮影。左から二人目が高橋さん

インタビュー 安全・安心で おいしいコメ作りを支援します

庄原市は、県内一のコメの生産量を誇るコメ処です。昼間と夜間の寒暖差が大きく、四季の変化、水、緑に恵まれ、農産物の生産に適した環境があります。特に標高の高い地域は、良質でおいしいコメが出来るといわれています。大阪のコンテストの結果は、環境にやさしい農業をベースに栽培を工夫し改良を重ねることで、標高の低い地域でも、良質でおいしいコメが出来ることを大きく示したと言えます。

状況の中で、特に日本人の主食である「コメ」で食の安全・安心を守っていくことは、非常に大切なことです。安全・安心で魅力あるものづくりを進めるため、市はエコファーマーの認定や土作りへの支援を行っています。

また、JA庄原では、農業の適正使用や栽培日誌の確実な記帳を呼びかけています。減農薬で、慣行の5割低減で栽培されたコメは、特別栽培米として通常のコメよりも高く買い取っています。平成23年度に整備した庄原育苗センターには温湯種子消毒ができる設備が整備されているため、農薬の低減につながっています。

さらに、こうしたコンクール受賞を生かすべく、市やJA庄原、県などの関係機関で組織する「農業振興調整会議 米対策検討班」は、庄原産米を振興する取り組みの検討を始めています。販売戦略の検討、新たな品種「あきさかり」の試験、ブランド化を目指したこだわり米の育成を支援するモデル事業、環境にやさしい農業の推進に力を注いでいきます。

こうした取り組みの継続とコメ農家の皆さんの努力で、庄原産の「米」がさらなる躍進につながることを期待しています。

農業振興課
松永幹司 農業振興係長



もみ殻に発酵菌、ヌカなどを混ぜ、水をかけて堆肥を作る

橋さん。これに含まれる有機酸が雑草を抑制する効果を持つことから、減農薬にもつながるといいます。

また、苗作りにもこだわり、しっかりと根付く軸が太く強い苗を育てるため、種もみの選別から水管理まで納得いくまで手を掛けます。

の知名度が上がリ、評価が上がっているのでは」と期待をかけます。

一方で「おいしいコメができる地域だと思っていると、もう、どうすればお客様さんに喜んでもらえるものができるのか、という視点でコメ作りをしていく必要があると思う」と指摘。そのためには、人よりいいものを作りたいという気持ちや、そのためにいろんな人の話を聞き、知識を増やし、その中で何が出来るかをしっかりと考えていくことをポイントに挙げます。「せっかく作るコメ。消費者にうれしいと評価してもらえるコメにこだわることでもっと庄原のコメは伸びると思う」。高橋さんは自身の経験が少しでもコメ作りに役立つヒントになればと思っています。

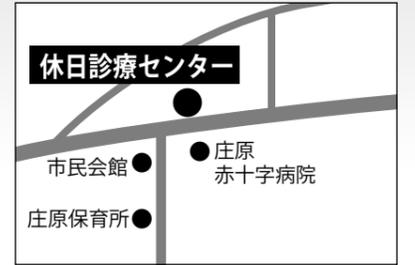
やつぱり おいしい 庄原の「米」



休日診療センターの整備を進めています

市は、本年春の完成を目指し、「庄原市休日診療センター」の整備を進めています。

休日診療体制の充実を図り、市民の方がより安心して医療が受けられる環境を整備していきます。



保健医療課医療予防係 ☎0824-73-1155

現状と課題

本市の休日診療は、現在、庄原と東城の2地域で、開業医が輪番で休日当番医となり、診療にあたっています。庄原で9つ、東城で6つ、計15医療機関の参加により維持されていますが、今後、医療機関の減少、開業医の高齢化や後継者不足などにより、現体制の維持が難しくなることが懸念されています。また、庄原地域では、軽症であっても二次救急医療を担当する庄原赤十字病院を受診するケースが増加しているため、救急当番医の負担が増えています。

整備目的と期待される効果

(1) 休日に急病になった方の応急的な診療を行う「休日診療センター」を二次救急指定病院である庄原赤十字病院の周辺に整備します。診療は庄原市医師会が担い、休日の初期救急医療（二次救急医療）体制を安定的に維持します。
 (2) 休日の昼間は休日診療センターに行けばいつでも受診できるという市民の方に分かりやすい体制を整えます。
 (3) 二次救急医療に開業医師、二次救急医療に庄原赤十字病院という役割を明確にすることで、休日の救急医療体制が充実し、庄原赤十字病院急患担当医師の負担が軽減されます。

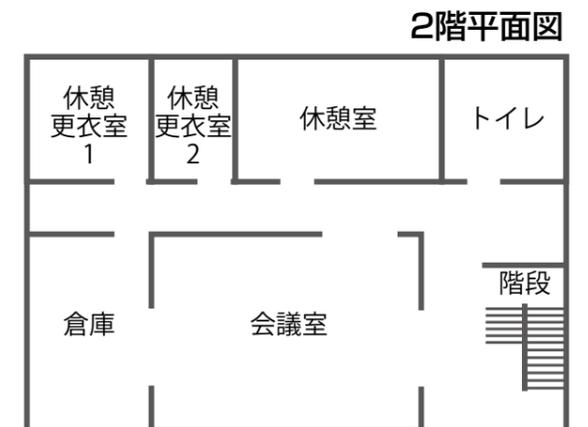
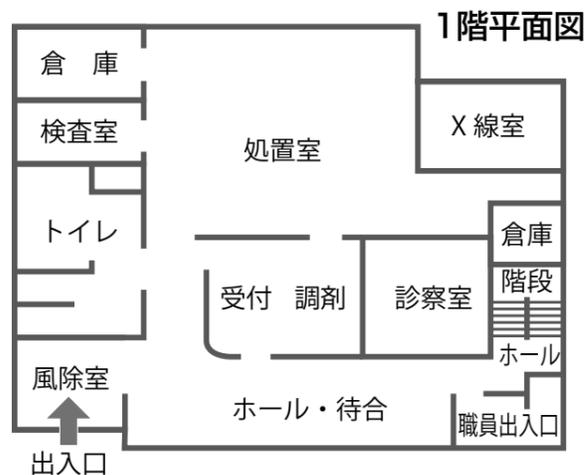
整備計画の概要

(1) 施設の位置および規模など

整備場所: 西本町三丁目
 (シルバー人材センター跡地)
 建物構造: 木造2階建て
 敷地面積: 541.23㎡
 建築面積: 174.31㎡
 延べ床面積: 268.09㎡
 (1階: 156.55㎡ 2階: 112.37㎡)

(2) 整備スケジュール

年度	工程
平成24年度	5~6月 基本設計(6月20日完了)
	6~9月 実施設計(9月20日完了)
	11~3月 建築工事
	12~3月 医療機器などの備品購入
平成25年度	4月1日 運用開始(4月7日(日)診療開始予定)



庄原市長・市議会議員一般選挙 投票日は4月7日(日)

選挙管理委員会事務局 ☎0824-73-1126

任期満了に伴う庄原市長・庄原市議会議員一般選挙が、3月31日告示(立候補届出受付日)、4月7日投票の予定で執行されます。この選挙から、選挙する市議会議員の定数は現行の25人から20人になります。皆さんの一票は、これからの市政を左右する大切な一票です。明るい選挙で私たちの代表を選びましょう。

立候補できる人

市長
 日本国民で年齢満25年以上の者

市議会議員
 日本国民で市議会議員の選挙権を有し、年齢満25年以上の者

※何らかの公職に就いている人は、立候補に制限がある場合があります。

投票できる人

日本国民で平成5年4月8日までに生まれ、平成24年12月30日までに庄原市に住民登録をし、引き続き3カ月

選挙の知識

選挙運動ができる期間

立候補届出前の選挙運動は禁止されています。選挙運動のできる期間は、立候補届が受理された時から投票日の前日までです。

寄附の禁止

きれいな選挙や政治をするために、政治家や候補者(立候補の意思がある人も含む)は、選挙のあるなしにかかわらず選挙区内の人に寄附をしてはいけません。また、有権者が寄附を求めるとも後援団体が寄附することも禁止されています。

永年の功績を称えて 平成24年度 スポーツ推進委員功労者表彰



受賞報告に滝口市長を訪問した、岩滝さん(中央)、藤原さん(左から2人目)、東さん(左から4人目)、庄原市スポーツ推進委員協議会竹本健三会長(右端)

た方に対して表彰されるものです。

岩滝さんは昭和55年から口和町体育指導委員として活動を始め、三次地区体育指導員協議会副会長、広島県スポーツ推進委員協議会理事、庄原市スポーツ推進委員協議会副会長などに就き、現在も地域でのスポーツ推進活動の傍ら、各種研修会にも積極的に参加しています。その功績が称えられての受賞となりました。

岩滝さんは「皆さんのご支援、ご協力のおかげでこのような賞をいただくことができ、大変ありがたい。少しでも地域の役に立てようこれからも頑張りたい」と喜びを語っています。

また、藤原佳敏さん(上原町)が「スポーツ推進委員功労表彰」と「30年勤続スポーツ推進委員表彰」を受賞。藤原さんも30年以上、庄原市スポーツ推進委員として地域スポーツ活動やニュースポーツの普及・定着に尽力しています。

庄原市スポーツ推進委員で、広島県スポーツ推進委員協議会会長でもある東泰治さん(上原町)にも、賛助会員としての感謝状が贈呈されました。

庄原市職員募集 (追加募集)

●採用職種、採用予定人員および応募資格

職 種	採用予定人員	応募資格
一般事務職	若干名	昭和57年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人
身体に障害のある人を対象とした一般事務職	1人	介護者なしに一般事務職として職務の遂行が可能で、次の項目のいずれにも該当している人 ①昭和52年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人 ②受付期限までに身体障害者手帳の交付を受けている人 ③活字印刷文による出題に対応できる人

※ 1受験者につき1職種しか受験できません。

- 申込手続**
- (1) 試験案内・申込書の配布場所
総務課人事秘書係、各支所企画調整室
- (2) インターネットの利用
市ホームページ(<http://www.city.shobarahiroshima.jp>)に掲載中の試験案内から印刷してください。
- (3) 郵送による請求
庄原市総務課人事秘書係
(〒727-8501 庄原市中本町一丁目10番1号)あてに返信用封筒を同封してご請求ください。
- ◎ 総務課人事秘書係あての封筒の表には「試験資料請求」と朱書きしてください。
- ◎ 返信用封筒(角形2号/縦33・2cm×横24cm)にあて先を明記し、120円切手を貼ってください。
- (2) 提出書類
申込書に必要事項を記入し、添付書類と併せて総務課人事秘書係へ提出してください。
- (3) 申込締切
1月18日(金)
- ※ 郵送の場合は1月18日(金)消印有効

- 試験の方法**
- 試験は第1次試験および第2次試験とし、第2次試験は第1次試験の合格者について行います。
- 【第1次試験】：全職種
試験日 2月10日(日)7時45分受付開始
試験会場 庄原市ふれあいセンター
(庄原市西本町四丁目5番26号)
試験科目 教養試験、事務適性検査、職場適性検査、作文試験
- 【第2次試験】：全職種
試験日、会場、試験内容は、第1次試験合格通知によりお知らせします。
- 採用予定年月日**
平成25年4月1日
- 問い合わせ**
総務課人事秘書係
☎0824-73-1125
※ 詳しくは、「平成24年度庄原市職員採用試験案内(追加募集)」をご覧ください。

庄原市森づくり事業 平成25年度事業参加者募集!

林業振興課 林業振興係 ☎0824-73-1124

事業の内容

- 環境貢献林整備事業(人工林対策)
過去15年間に一度も森林整備が行われていない人工林(スギ・ヒノキ)の整備費用を助成します。
- 1 人工林の間伐 ※所有者負担金として、1ヘクタール当たり1万円が必要
 - 2 台風や大雪による被害木の片付け(二次災害の防止)
 - 3 間伐用の作業路の整備

庄原市は、森林を手入れし、森林の役割を最大限に発揮させ、安らぎと潤いのある生活を次の世代へ引き継いでいくために、「ひろしまの森づくり県民税」を財源とする「庄原市森づくり事業」に取り組んでいます。

この事業は、手入れが十分されていないスギ・ヒノキといった人工林や、マツ・広葉樹などの里山林を手入れ(間伐など)するものです。

現在、平成25年度の事業実施を希望する森林所有者や団体などを募集しています。

応募締め切りは2月末日で、応募多数の場合は道路沿いの森林など、事業の目的と成果が実感できる個所を優先して採択します。

里山保全活用支援事業

- 1 放置された里山林の除間伐・下草刈り
- 2 松くい虫被害による松林の整理
- 3 竹林の伐採と整理による繁茂の防止
- 4 有害鳥獣の生息の場となっている里山林を整備し、野生鳥獣による農作物被害を防止(バッファゾーン整備)

里山林整備事業

手入れが不十分なマツや広葉樹などの里山林を保全するための整備費用を助成します。

森林・林業体験活動支援事業

森林の機能や林業について学ぶ体験活動を支援します。

参加申し込みや事業の詳細は、林業振興課林業振興係または各支所産業振興室・産業建設室へお問い合わせください。

私にもできる 獣害対策



林業振興課 ☎0824-73-1124

● 獣害・守れる集落の作り方

NGO 冬野菜の鳥対策

早速ですが、やっぱり冬は鍋物ですよ。霜に当たったハクサイ、ミズナ、ネギ、ダイコンなど、家の前の菜園から収穫してくるなんて、都会では考えられない最高の贅沢ですよ。でも、ある日突然ヒヨドリの大群がやってきて、なんてことにならないよう、今回は上手な鳥対策です。

べたがけ資材

害虫よけ、保温対策で売られている薄い不織布資材。これを上手に使いこなせば鳥よけにも使えます。そのために、よい点と欠点も知っておきましょう。

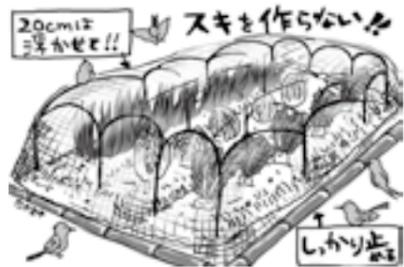
よい点は、鳥からは中の野菜が見えないから、餌があることさえ気付かないこと。風でめくれやすいこと。すその部分の押さえが十分でない、よい点は帳

消し。畝間のハコベなんか食べに来た鳥が、そのまま地面をビヨコビヨコ歩いて、すき間から資材の下に入り込むことを覚えちゃう。ハウスの廃パイプや竹なんかでしっかり押さええておいてください。

防鳥ネット

上手に防鳥ネットを使いこなす秘訣は、野菜から20cmは浮かせて張ること。野菜にくっつき過ぎてるところがあると、ネットを踏んづけて止まっちゃうでしょ。群れで来て、ネットの外から食べ始めると、鳥の重みでどんどん食べられるところが広がっちゃう。

野菜とネットの空間を確保するためには支柱をひと工夫。ネット支柱はトンネル栽培の支柱のような畝に直角の支柱だけでなく、畝の両肩部分に縦方向の支柱を入れてみると張りやすいし効果抜群! (近畿中国四国農業研究センター井上雅央)



わたしたちが進める「市民が主役」のまちづくり!



シリーズ No.10
自治振興課
まちづくり定住推進係
☎0824-73-1257

4月1日に施行された「庄原市まちづくり基本条例」をシリーズで解説してきました。今回は最終回です。第9章では、目的を達成するために必要な措置を講じるよう記述しています。

(必要な措置)
第18条 市は、この条例の目的を達成するため、必要な措置を講じるものとします。

解説
第18条は、この条例の目的を達成するために必要な措置を講じる旨を記述しています。

推進体制の整備や検証組織の設置、活動団体の設立支援をはじめ、さまざまな取り組みが想定されます。また、社会環境の変化などに対応するため、この条例の検証や見直しについても検討が必要です。

支所企画調整室自治振興係に「まちづくり活動に関する」と事務分掌が明記されており、今後の条例の管理や必要な措置などは、これらの部署を中心に取り組むこととなります。

(委任)
第19条 この条例に定めのない事項で必要な事項は、市長が別に定めるものとします。

解説
第19条は、市長への委任について記述しています。

前条の規定に基づき検証組織を設置する場合などには、設置目的や委員数などを定めた要綱を制定します。

しょうばら愛サミットを開催します!

まちづくり基本条例では、市民同士の連携、協力もまちづくりの大きな力になるとしています。まずは、いろいろな価値観や考えを持つ人たちがお互いの立場を尊重しながら、語り合うことから始めましょう。

今回は、市外から見た庄原の魅力やI(U)ターンされた方で語り合います。
ご参加をお待ちしています!

とき 2月17日(日)14時~16時
ところ 庄原市ふれあいセンター
対象 I(U)ターン者
定員 30人程度(先着順)
申し込み 1月31日(木)までに自治振興課へ。

安心・安全な毎日のために

庄原警察署交通課 ☎0824-7210110
市民生活課生活安全係 ☎0824-731154

免許証の自主返納を
考えてみませんか?

年々、高齢ドライバーによる交通事故が増えています。平成24年中に、庄原警察署管内で発生した人身事故101件のうち、27件が高齢運転者によるもので全体の26.7%を占めています(平成24年11月末現在)。

よる交通事故を防止する対策として、庄原警察署では運転免許証の自主返納を呼びかけています。特に、運転中ヒヤリとする機会の増えた方、家族から「運転が心配」と言われている方、運転に自信がなくなった方、免許証の自主返納を考えてみませんか?



庄原警察署
谷野秀行交通課長

ぜひ免許証の自主返納を考えてみてください。

財政課理財係 ☎0824-73-1202

平成25年度広告主を募集します!!

★募集期間:2月1日(金)~22日(金)

名称	枚数	規格	広告料	配布数量等	備考
ホームページバナー (市ホームページのトップページへのバナー広告)	5枚	縦50×横150 (ピクセル) ※形式:GIF、JPEGまたはテキスト (アニメーション可) ※容量:5キロバイト以下	5,000円/月	トップページ アクセス数 約52,000 件/月	■掲載期間は平成25年度中 (掲載は月単位・最長12カ月まで) ■応募多数の場合は市内事業者を優先し先着順
共通封筒 (市民や行政機関などへの送付用に使用する封筒裏面への広告)	長形3号	縦60×横100 (mm)	70,000円以上 上記金額を最低価格として、申込額の最も高い額を提示した事業者へ決定	70,000枚	■広告掲載期間は平成25年度中 (ただし、封筒の在庫限り) ■広告の印刷は単色 (濃淡のある原稿や写真入りの原稿は不可) ■応募多数の場合は市内事業者を優先し、申し込み額の高い順
	角形2号		35,000円以上 上記金額を最低価格として、申込額の最も高い額に2枚を決定	35,000枚	
広報紙 (平成25年4月号~平成26年3月号への広告)	※各月で枚数変動有	①縦45×横173 (mm)	1色 25,000円 カラー 50,000円	毎月 約16,000 世帯	■カラー広告は裏表紙のみ (①の規格で2枚分まで) ■掲載期間は月単位とし、連続3カ月以上1割、7カ月以上で2割の広告料を割引 ■募集期間終了後も随時受付 (掲載は申請の翌々月) ■応募多数の場合は市内事業者を優先し、先着順
		②縦45×横85 (mm)	15,000円 30,000円		
納税通知用封筒 (納税通知書などの通知用封筒裏面への広告)	2枚	縦65×横85 (mm)	1枚 120,000円以上 (広告の色は黒1色) 上記金額を最低価格として、申込額の最も高い額に2枚を決定	150,000枚	■広告期間は平成25年度中 (ただし、封筒の在庫限り) ■応募多数の場合は市内事業者を優先し、申し込み額の最も高い順

※その他、市営バスや公用車、ごみ収集車など随時広告を募集していますので、財政課理財係へお問い合わせください。
※広告の詳細は、市ホームページ(<http://www.city.shobara.hiroshima.jp/>)へも掲載しています。

免許証を自主返納すると、運転経歴証明書の交付申請ができるようになります。この証明書を所持し、次のような使い方ができます。

- 顔写真付きの身分証明書として使用することができます。
 - 銀行での口座開設などの本人確認として使用可能です。
 - 65歳以上の方は、タクシー料金が1割引になります。
- ※市内に本拠のある全15のタクシー事業者が対象です。ただし、障害者手帳を持っているなど、すでに割引制度を受けている人は二重にサービスを受けることはできません。
- ※運転免許証を失効させた方は申請できません。

スリップ事故・スリップ! 凍結・積雪路面を安全に!

この冬、路面凍結や積雪により交通事故が多発しています。12月9日には死亡事故も発生していますので、事前の準備と慎重な運転を心がけましょう。

スリップ事故を防ぐために

- 車にも冬支度を
冬用タイヤを確実に装着しましょう。
- 路面の状況に応じた運転を
凍結しやすい橋の上、トンネル内、カーブ、坂道、道路の日陰部分などはより慎重に。
- 安全な速度と車間距離
凍結路面は、乾燥した路面に比べて停止するまでの距離が数倍必要。速度を落とし車間距離を保とう。
- ハンドル・ブレーキ操作は慎重に
「急」から「緩」へ
「急発進」「急ブレーキ」「急加速」「急ハンドル」は危険! ゆっくりと。
- ライトでアピール
冬の日、周りが見えにくくなるので、ライトの点灯を。
- ゆとりを持って出発を
出発前には、道路交通・気象情報を確認しましょう。

★運転経歴証明書の交付を受けるには、手数料が千円かかります。



見本

市職員の給与などを公表

(6) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額(平成24年4月1日現在)

区分	学歴	経験年数10-15年	経験年数15-20年	経験年数20-25年
一般行政職	大学卒	265,642円	305,434円	362,629円
	高校卒	229,900円	286,323円	317,124円
技能労務職	高校卒	-	-	302,500円

(7) 一般行政職の級別職員数(平成24年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
標準的な職務内容	主事	主事	主任主事	主任	係長級	課長級	
職員数	17人	36人	163人	37人	103人	50人	406人
構成比	4.2%	8.9%	40.1%	9.1%	25.4%	12.3%	100.0%

(注) 1. 給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
2. 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。

2 特別職の報酬など(平成24年4月1日現在)

区分	報酬月額など	区分	報酬月額など
給料・報酬	市長	860,000円 ※減額条例により	731,000円
	副市長	700,000円 ※減額条例により	630,000円
	教育長	620,000円 ※減額条例により	574,000円
	議長	410,000円	
	副議長	355,000円	
	議員	325,000円	
期末手当	市長	(23年度支給割合)	3.95月分
	副市長	(加算の状況) 役職加算	15%
	教育長		
	議長	(23年度支給割合)	3.95月分
	副議長	(加算の状況) 役職加算	15%

3 職員の任免および職員数

(1) 職員の採用状況

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

試験区分	採用者数	
行政職	一般事務	13人
	技師(土木・建築)	6人
	教育委員会指導主事	2人
医療職	医師	1人
	臨床検査技師	1人
	看護師・准看護師	2人
計	25人	

(2) 職員の退職の状況

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	市長事務 部局など	西城 市民病院	計
定年退職	13人	1人	14人
普通退職	7人	1人	8人
合計	20人	2人	22人

(3) 部門別職員数(平成24年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年 増減数	
		平成23年度	平成24年度		
普通会計部門	一般行政部門	議会	5人	5人	0人
		総務	131人	134人	3人
		税務	26人	27人	1人
		労働	0人	0人	0人
		農林水産	50人	52人	2人
		商工	19人	17人	△2人
		土木	63人	61人	△2人
		民生	118人	116人	△2人
		衛生	39人	39人	0人
		計	451人	451人	0人
	教育	53人	52人	△1人	
	警察	0人	0人	0人	
	消防	0人	0人	0人	
	小計	504人	503人	△1人	
会計部門	公営企業等	病院	54人	57人	3人
		水道	18人	19人	1人
		下水道	13人	14人	1人
		その他	33人	33人	0人
		小計	118人	123人	5人
合計		622人 [817人]	626人 [817人]	4人 [-]	

(注) 1. 職員数は一般職に属する職員数です。
2. []内は条例定数です。

(4) 年齢別職員構成(平成24年4月1日現在)

区分	20歳 未満	20歳 ～23歳	24歳 ～27歳	28歳 ～31歳	32歳 ～35歳	36歳 ～39歳	40歳 ～43歳	44歳 ～47歳	48歳 ～51歳	52歳 ～55歳	56歳 ～59歳	60歳 以上	計
職員数	0人	13人	37人	51人	72人	93人	81人	65人	47人	73人	94人	0人	626人

「地方公務員法」および「庄原市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、庄原市人事行政の運営などの状況を公表します。(詳細は市ホームページへ掲載しています。)

市の職員の給与は基本給としての給料と扶養

手当、通勤手当などの諸手当からなっており、国や他の自治体の職員の給与などを考慮したうえで「庄原市職員の給与に関する条例」などで定めています。

総務課人事秘書係 ☎0824-73-1125

1 職員の給与の状況

(1) 平成23年度(H23.4.1～H24.3.31)の人員費(普通会計決算)

住民基本台帳人口(年度末)	歳出額A	実質収支	人員費B	人員費率(B/A)
39,624人	33,518,407千円	732,824千円	4,494,158千円	13.4%

(2) 平成23年度の職員給与費(普通会計決算)

職員数A	給与費				1人当たり給与費 (B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計B	
504人	1,889,144千円	275,320千円	678,278千円	2,842,742千円	5,640千円

(注) 職員数は平成23年4月1日現在の職員数であり、職員手当には退職手当を含みません。

(3) ラスパイレス指数(一般行政職)

区分	平成22年度	平成23年度
庄原市	96.7	96.3
全国市平均	98.8	98.8

(注) 1. ラスパイレス指数は、国家公務員の給与水準を100として、庄原市職員の給与水準を比較した数字です。
2. 全国市平均は政令指定都市を除いた数値です。
3. 平成24年度の指数は現時点で未公表です。国の公表後、市ホームページへ掲載します。

(4) 職員の平均年齢、平均給料月額および平均給与月額

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	
一般行政職	庄原市	42歳6月	319,121円	340,860円
	広島県	44歳4月	346,354円	385,599円
	国	42歳10月	(減額前) 329,917円 (減額後) 304,944円	(減額前) 401,789円 (減額後) 372,906円
技能労務職	庄原市	53歳1月	342,975円	348,190円
	広島県	57歳4月	402,138円	423,612円
	国	49歳8月	(減額前) 285,030円 (減額後) 270,465円	(減額前) 323,181円 (減額後) 307,506円

(注) 1. 「平均給料月額」とは、平成24年4月1日現在の各職種ごとの職員の基本給です。
2. 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養、住居、管理職手当などの諸手当の額を合計したものです。
3. 「減額前」は国家公務員の給与の改定および臨時特例に関する法律(以下、「給与改定・臨時特例法」という。)に基づく給与減額支給措置による減額前の額であり、「減額後」は同措置による減額後の額である。

(5) 職員の初任給(平成24年4月1日現在)

区分	学歴	庄原市	広島県	国(減額前)	国(減額後)
一般行政職	大学卒	172,200円	176,278円	172,200円	163,987円
	高校卒	144,500円	142,462円	140,100円	133,418円
技能労務職	高校卒	144,500円	139,899円	-	-

(注) 「減額前」は給与改定・臨時特例法に基づく給与減額支給措置による減額前の額であり、「減額後」は同措置による減額後の額である。



設置作業を行う実業高校の生徒たち



門松づくりを行うシルバー人材センターの皆さん



井上さん



安田さん

工課
商観

就職先求め積極アピール
庄原市合同就職面接会

市とハローワーク庄原が共同で主催する「庄原市合同就職面接会」を11月24日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

この面接会は、近年の厳しい雇用情勢の中、庄原で働く意欲のある方を広く募り、市内への就労支援と企業の人材確保を目的に、平成21年度から開催しています。

当日は、高校生から60歳代までの求職者、これまでで最も多い73人が訪れ、ブリスを構えた市内の企業20社の中から、就職を希望する企業の面接に臨みました。参加者は、各ブリスを積極的に回り自己アピールするなど、会場は



熱気あふれる会場

終始熱気にあふれていました。

企業からは「この面接会は庄原で働きたいという方と直接面接できるのが良い」と好評で、面接会終了後には、早速「採用内定を出したい」といった話が数社からあり、求職者と参加企業にとつて有意義な面接会となりました。

涯課
生学

市内の文化財や史跡などを知る一冊
庄原市文化財ガイドブック販売中

市教育委員会は、市内の文化財や史跡などを紹介する『庄原市文化財ガイドブック―史跡・名勝・天然記念物編―』を販売しています。

ガイドブックには、市内にある国・県市指定文化財242件のうち、史跡・名勝・天然記念物97件を収録。古墳・城跡などの遺跡や天然記念物に指定されている動植物の特徴を写真や文章で紹介しています。

このガイドブックは、市内の各書店、生涯学習課各支所教育室で、1冊600円で販売しています。詳しくは、生涯学習課文化振興係(☎0824-731189)まで。

12月4日から10日までの人権週間にあわせ、庄原市人権講演会を12月6日、市民会館で開催し、300人あまりが来場しました。

テレビ番組などでおなじみの弁護士菊地幸夫さんが、「出会いの人生から学んだこと」と題して講演。「弁護士」



B6版カラー、136ページの冊子



身振り手振りで話す菊地弁護士

「大学講師」、「地元小学生バレーボール部の監督」の経験から、子どもや学生たちとのコミュニケーションの大切さについて熱く語りました。子どもへのパレード指導では「子どもたちを思い通りに動かそうと思っはいけない。子どもたちの意見を取り入れて練習を行い、子どもたちに自分で考えさせている」と話し、コミュニケーションから信頼関係を築くことの大切さを呼びかけていました。

来場者に行ったアンケートでは「考えて行動する人になりたいと思う」などの感想が寄せられました。

総務課

コミュニケーションの大切さを説く
庄原市人権講演会

総務課

門松と葉ボタンが来庁者をお出迎え
シルバー人材センターと庄原実業高校が設置

市は、庄原市シルバー人材センターから門松としめ縄、庄原実業高校から葉ボタンの寄贈を受けました。

12月19日、シルバー人材センター門松製作同好会の8人が、市役所本庁舎西側の玄関の両脇に、高さ約2メートルの門松を約1時間かけて設置。

また、11月21日には庄原実業高校

生物生産学科2年生が、白と紫色の葉ボタン約600株を一つ一つ寄せ植えし、縦1.6メートル、横3.9メートルの大きさの「庄原市」という花文字を約1時間かけて作製。玄関口に設置しました。

どちらも1月中旬まで飾られ、来庁者を出迎えるとともに、訪れた人の目を楽しませています。

林業振興課
農業振興課

鳥獣害対策の主役は「女性」です
庄原市さわやか女性会議と市が共催し講演会を開催

鳥獣害対策のヒントを学ぶ講演会「鳥獣害対策の主役は女性」が11月18日、庄原市ふれあいセンターで開催されました。

庄原市さわやか女性会議と市が共催するこの講演会に、鳥獣害に悩む農家の方や女性農業者など約120人が来場。鳥獣害対策のスペシャリストで近畿中国四国農業研究センター専門員の井上雅央さんと、鳥獣害対策を実践しながら「100歳になっても楽しめる畑」を目指している鳥根県美郷町の女性リーダー・安田兼子さんから、鳥獣害対策に果たす女性の役割や実践事例などについて話を聞きました。

井上さんは「鳥獣害対策は、男性だけでは発揮できない女性の視点や、女

性の持つ横のつながりがとても大切。集落全体の取り組みへの大きな力になる」と述べたうえで、「対策で最も重要なのは餌付けをやめること。鳥獣にとつて人里が山より食べられない場所であり、危険な場所だと認識させることがポイントだ」と指摘。また、安田さんは「女性が一歩前に出ること、できることがあると思う。女性も男性も、お互いに知恵を出し、協力し合って助け合っていくことで、地域は活気と明るさを取り戻せる」と話していました。

そのほか、市内で鳥獣害対策を実践している2人の方が、それぞれ農業体験を発表。来場者は、うなずきながら真剣に耳を傾けていました。

たすきをつなぎ師走を駆ける 第61回庄原市スター式駅伝大会

REPORT 4



▲第5中継所(庄原中学校下)でのたすきリレー

なったこの日、県内外から101チーム、総勢606人の選手が参加し、男子16キロ、女子15.6キロ共に6区間で

「第61回庄原市スター式駅伝大会」が12月2日、上野総合公園陸上競技場を発着点に開催されました。

冬将軍が一気に訪れたような寒さとなったこの日、県内外から101チーム、総勢606人の選手が参加し、男子16キロ、女子15.6キロ共に6区間で

中学、高校、一般、職域など計6部門で競いました。選手たちは、沿道での多くの声援を受けながら、懸命に1本のたすきをつなぎ続けました。

発着会場では、実行委員会によるぜんざいが振舞われ、また、庄原中学校陸上部OB保護者の皆さんによる「うどん屋台」も出店され、走り終えた選手たちは冷えた体を温めていました。



▲白パイを先頭に競り合う選手

西城産野菜の可能性広げる 西城超元気農産物フェスタ

REPORT 5



▲競り大夫による出品野菜の競り売り

この催しは、西城の上質な農産物を住民皆で評価し合い、生産意欲を高めることで地域を元気にしようと、西城自治振興区のもてなしプロジェクトが企画したもので、各自治会などと連携しながら数カ月かけて準備を進めてきました。

「西城超元気農産物フェスタ」が11月11日、西城体育館で開催されました。

町内128人の生産者から出品された野菜、果物が会場いっぱいになり、市の営農指導員の小谷輝男審査委員長ほか4人の審査員が、部門別に優秀作品を選定、表彰しました。

西城川子ども太鼓の演奏で野菜の競り売りがスタートすると、活気あふれる競り大夫の掛け声に合わせて値段が競り上がり、2時間かけて257の出品野菜を完売。地元住民が提供する食のテント村も好評でした。

実行委員長を務めた安井政行さんは「多くの実行委員が心をつなげてがんばった成果。西城産野菜の力と可能性を感じた。来年につなげていきたい」と話していました。

手づくりの交流プログラムで学び合い・分かち合い 西城町5地域で農村都市交流事業

REPORT 6

広島市の広島国際学院大学の学生と教員58人が11月11日、西城町を訪れ、農村体験交流を行いました。

この事業は、学生が農村の役割や文化、課題などへの理解を深め、生きた学問を学びたいという思いと、地域の地域資源を生かした都市部との交流で地域活性化を目指す西城町自治振興区連絡協議会の思いが一致して実現したものです。

受け入れた5地域(グリーンピア大佐村・八銚落合・高尾自治会、油木衣木常会、大屋山下滋さん)は、それぞれ交流プログラムを作成。林業やコメ、野菜、リンゴ、シイタケの学習・収穫体験などで交流を深めました。

参加者からは、心のこもったもてなしへの感謝の気持

ちや、仕事を通して発見した農村の課題と魅力、西城地域活性化のためのアイデアなどを綴った感想が寄せられました。

西城町自治振興区連絡協議会では、学び合い・分かち合うことの価値を今後の活動に生かすため、近く交流事業報告会を計画しています。



▲雨の中、西城町森林組合も協力して、本格的な林業体験(油木衣木常会)

伝統の民俗芸能を後世へ継承 第4回庄原市民俗芸能大会

REPORT 1

「第4回庄原市民俗芸能大会」が11月18日、庄原市民会館で開催され、市内外から約600人が来場しました。

この大会は、市内の各地域で守り継がれてきた民俗芸能を保存、伝承するとともに、民俗芸能への知識と関心を深めるため、同実行委員会が開催しているものです。

4回目の開催となる今大会では、市内の無形民俗文化財のほか、西城紫水高等学校神楽同好会、口和中学校神楽同好会、比婆荒神神楽こども神楽塾の3団体が

特別出演。普段は地域の外で演じられることの少ない民俗芸能が5時間にわたり披露され、来場者は個性豊かな演目をたっぷり堪能していました。

来場者は「伝統的な民俗芸能が着実に新たな世代に継承されているのが舞台を通して感じることができた」と話していました。



▲口和中学校神楽同好会

一人一人が自分らしく暮らせる地域を考える ヒューマンフェスタ“24” in総領

REPORT 2



▲講演する辻駒さん

し講演。辻駒さんは、人権を守り自分たちの地域を存続

人権について考える「ヒューマンフェスタ“24”」が11月25日、総領自治振興センターで開催されました。

午前中は、安芸高田市川根振興協議会会長の辻駒健二さんが、「地域づくりと人づくり」と題

していただくために川根振興協議会を立ち上げた経緯などの経験談を交え、「人権や地域を守るには行政に要求するだけでなく、自分たちがどうしたいのか提案することが大切。自分たちで考えることに意義がある」と強調していました。

午後からは、迫力ある総領響心太鼓の演奏や元気いっぱいの子ども神楽などのステージ発表が行われ、来場者は手拍子をしながら楽しんでいました。

ヒューマンフェスタ実行委員会副実行委員長の延清圭祐さんは「今回は行政主導ではなく、自治振興区を中心とした住民と行政とが協力して、一緒になって人権を考えることができた」と話していました。

子育てママが「あったらいいな」をカタチに 庄原空市に多くの人

REPORT 3

庄原空市実行委員会などが主催する「庄原空市」が11月4日、市役所市民ひろばで開催され、多くの親子連れなどでにぎわいました。

このイベントは、子育て中のお母さんたちが、日々の生活の中で考えた「あったらいいな」を楽しく実現して「子どもから大人までが参加できる場を作りたい」との思いで企画したものです。

天候に恵まれたこの日、会場は手づくり雑貨や洋服などの販売ブースのほか、エコバックを作ったり、おしゃれを楽しめたりする体験ブース、地元の食が味わえるお店などが軒を連ね、訪れた多くの人の笑顔と活気であふれていました。

実行委員の1人、大歳龍さんは「半年前から準備を始め、みんなで毎日のように話し合い企画を進めてきた。ここで生まれ

た出会いが縁となり、ここで生まれた交流がさらに広がってほしい」と話していました。



▲快晴の下、あふれんばかりの人

高野の夜をあたたく灯す 第19回学園ロードイルミネーション点灯式

REPORT 10

高野の冬の風物詩として定着した「学園ロードイルミネーション」の点灯式が11月29日、高野支所前で行われました。

この日は11月とは思えないほどの冷え込みでしたが、親子連れを中心に約70人が集まりました。

セレモニー終了後、いよいよカウントダウン。支所周辺や学園ロードのいちょう並木に設置されたイルミネーションが一齐に点灯した瞬間、「わぁーキレイ」と感嘆の声が上がりました。

点灯直後には、サンタクロースに扮した市職員によるハンドベル演奏が行われたほか、温かい豚汁も振舞われ、体も心も温まる点灯式になりました。

今年は、ほぼすべての電球がLED化され、より鮮やかな色合いとなったほか、省エネにも一役買ったものとなっています。

イルミネーションは1月15日まで。



▲夜空に輝くイルミネーション

迫力の女太鼓に酔いしれる 吾妻太鼓10周年公演

REPORT 11

今年で結成10周年を迎える吾妻太鼓が11月11日、比和文化会館で記念公演を行い、250人の観客が迫力ある音色と華麗なバチさばきに酔いしれました。



▲力強い演奏を披露

吾妻太鼓は、「仲良く、楽しく」をモットーに比和町の女性たちが結成した太鼓演奏グループで、さまざまなお祭りや催し事で息の合った力強い演奏を披露してきました。公演当日は、これまでイベントなどで競演してきた要害太鼓やエイサー、田楽花田植えなどが駆けつけ、祝いの演奏で10周年に華を添えました。

吾妻太鼓を立ち上げ、代表を務める細田絹子さんは「これまで続けて来られたのは家族や地域の方々のおかげ。これからも活動を続け、地域に貢献していきたい」と、吾妻太鼓のさらなる飛躍を誓いました。

子どもたちが奏でる交流ハーモニー 東城町で音楽交流会

REPORT 12



▲町内保育所年長組による合唱

東城町内の保育所、小学校、中学校、高校が一堂に集まる東城町音楽交流会が11月9日、東城小学校体育館で開催されました。

この交流会は、音楽を通じて子どもたちの交流を深めることを目的に開催され、今年で24回を迎えました。

八幡小学校児童の力強い太鼓演奏でスタート。続いて町内保育所年長組が元気いっぱい「勇気100%」を歌い上げ、小奴可小学校児童は金管鼓笛に挑戦し、会場を盛り上げました。最後は、東城中学校吹奏楽部の演奏に合わせて、会場全員で「もみじ」を合唱し、交流を深めました。

演奏を終え舞台を降りる子どもたちは、充実感と達成感に満ちあふれていました。



▲小奴可小学校児童による金管鼓笛

市内各地域がのろしでつながる 戦国時代の通信手段を再現

REPORT 7



▲市役所を出発する陸友会の皆さん

「のろし上げ」を再現するイベントが11月23日に開催されました。

「人と人、地域と地域の絆づくり」をテーマに、今回は新たに東城地域が加わり、市内全域、12カ所がのろしリレーでつながりました。

また、新企画として「飛脚による伝令」も行われ、市役所前で永井忠司実行委員長が読み上げた伝令文を、庄原陸友会のメンバーが飛脚となって7カ所ののろしポイントへ届けました。

のろしプロジェクト実行委員会ではのろし上げに参加する自治振興区を募集しています。このイベントに関するお問い合わせは自治振興課（☎0824-73-1209）まで。



▲黒岩城址(口和地域)会場の様子

「温泉」と「卓球」がつながる交流 庄原さくら温泉ラージボール卓球大会

REPORT 8

11月20日・21日の両日、「全国オープン温泉卓球中国シリーズ2012 庄原さくら温泉ラージボール卓球大会」が庄原市で開催されました。

この大会は、中高年のスポーツへの参加促進とラージボール卓球を通じて交流を深めることを目的に、温泉のある市町村で毎年会場を移しながら開催されています。今年の開催地となった庄原市では、「かんぼの郷庄原」が宿泊・交流会場、庄原市総合体育館が競技会場となり、全国各地から240人が参加しました。

競技は、男女各シングルス・ダブルス、混合ダブルスの3部門で行われ、温泉卓球というのどかなネーミングとは名ばかりのハイレベルな熱戦が繰り広げられました。競技には招待選手として、1979年世界卓球選手権ピョンヤン大会男子シングルス優勝者の小野誠治さんも競技に参加し、その技術の高さを披露していました。

また、期間中は、多くの皆さんが「さくら温泉」や「備北丘陵公園ウインターイルミネーション」を訪れるなど、晩秋の庄原を楽しんでいました。参加した選手は「おもてなしの心に感動した。また、プライベートで来たい」と喜んでいました。



▲各コートで白熱のラリーが展開

みんなでつくる「まちなか広場」 憩いの庭で植栽作業

REPORT 9

紅梅通りまちなか広場で11月9日、植物の植え付け作業が行われました。

まちなか広場は、市内中心地の憩いと交流スペースとして昨年7月にオープンし、ふるさと大使の石原和幸さんがデザインした「里山のくらし」の庭があります。この庭に庄原の里山をイメージする植物を植えようと、地元自治会など多くの市民の皆さんから提供された、南天やアオキ、ユキノシタなどの植物約200点を、ボランティアで参加した30人が植え付けました。

参加者は「懐かしい雰囲気の中軒茶屋もあって、庭を眺めながら憩い交流ができる」と喜んでいました。



▲石原さんも参加し一緒に植栽

始めよう 禁煙生活

比和支所市民生活室
保健師 新田千明



市は、市内で「喫煙している人」の割合が増加傾向にある(庄原市健康づくり計画調査H23年度)ことから、喫煙習慣の改善や分煙など、さまざまな取り組みを進めています。

タバコの煙は、タールやニコチンなどの多くの有害物質を含み、特にタールは多くの発がん性物質を含んでいるので、肺がんをはじめさまざまながんを引き起こします。喫煙者が肺がんで死亡する率は、非喫煙者の約4.5倍と高く、そのほかのがんになる危険性が増大することも報告されています。



また、がんだけでなく狭心症や心筋梗塞など心臓の病気や、肺気腫などの肺の病気、歯周病などの原因と関連があるとも言われています。

こんな方は要注意!!!

- 1 妊婦：お腹の赤ちゃんの発達に悪影響を及ぼし、早産は1.5倍リスクが高くなり、周産期死亡率は1.2〜1.4倍高くなります。
- 2 未成年：特に身体への影響力が大きく、ニコチンによる依存もしやすいので危険です。

3 タバコを吸う人の周囲にいる人：喫煙者がフィルターを通して吸い込む煙(主流煙)よりも、たばこの先から立ち上る煙(副流煙)により多くの有害物質が含まれています。

タバコをやめると、どんな良いことがあるのでしょうか？

- ☆実際の禁煙者の声
- 日々タバコを吸う場所を考えなくてよくなり、精神的にタバコから開放された。
- 家族から臭いがなくなったと言われた。
- お小遣いが節約できるようになった。
- 食事がおいしくなった。

やめようと思ってもつい吸ってしまつタバコ...
実際に禁煙をした人はどんなことをきっかけにやめようと思ったのでしょうか？

- ☆禁煙成功者のきっかけとは...
- 孫が出来て一緒に暮らすようになったから。
- 上司に禁煙を勧められて...
- タバコによって呼吸が苦しくなったため。
- ドクターストップにより吸えなくなつた。

このように、きっかけはさまざま。さあ、1月は新しい1年の始まりです！1年の節目でもあり「禁煙生活」を始めてみるきっかけにしてみたいかがでしょうか。

《生活の中でひと工夫！》

- ① 禁煙することを周囲に宣言する
- ② タバコの煙を避ける。ライターなどの喫煙に関する物を処分する
- ③ 口寂しい時には、糖分の少ないガムや氷するめなどをかむ、歯ブラシで磨くなどして口内に刺激を与える
- ④ 自分の中でリラックス方法を見つけて気分転換する
- ⑤ 野菜を多くとって肥満を予防

そのほかにも、ニコチンパッチやニコチンガムなどの禁煙グッズを使用すると、ニコチン不足の状態を軽減してくれる禁煙継続の助けとなります。また、禁煙外来(医療機関)に行つて相談してみるのも良いでしょう。

おしり

生活相談

- 身体障害者補装具判定会
〔肢体〕 1月17日(木)
受付 13時〜14時
- 広島県三次庁舎第3庁舎2階
三次市十日市東4-6-1
※1週間前までに社会福祉課障害者福祉係へ予約を。
0824-73-1210
- 〔庄原地域〕
○身体 2月18日(月)
13時30分〜16時30分
ところ 庄原市ふれあいセンター
- 〔西城地域〕
○身体・知的 2月3日(日) 10時〜12時
ところ 東城支所
- 〔東城地域〕
○身体・知的 2月15日(金) 10時〜12時
ところ 西城保健福祉総合センター
- 〔比和地域〕
○身体・知的 2月5日(火)
9時30分〜12時
ところ 比和自治振興会館

※事前予約もできます。
問い合わせ
社会福祉課障害者福祉係
0824-73-1210

人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が相談に応じます。

- 庄原地域
1月15日(火)・2月5日(火)
13時30分〜16時30分
ところ 庄原市ふれあいセンター
- 西城地域
とき 2月14日(木)
13時30分〜16時30分
ところ 西城自治振興センター
- 東城地域
とき 2月7日(木)
13時30分〜15時30分
ところ 東城ふれあいセンター
- 高野地域
とき 2月12日(火)
13時〜15時
ところ 高野支所
- 総領地域
2月13日(水)9時〜11時
ところ 総領健康福祉センター

問い合わせ

三次人権擁護委員協議会
0824-62-2572

定期巡回児童相談

広島県北部子ども家庭センターが子育てに関する相談に応じます。

- 庄原地域
とき 1月17日(木)・2月21日(木)
10時〜15時
ところ 庄原市ふれあいセンター
※1週間前までに女性児童課女性子ども支援係へ予約を。
0824-73-0051
- 東城地域
とき 1月25日(金)・2月22日(金)
10時〜15時
ところ 東城支所
※1週間前までに東城支所市民生活室へ予約を。
08477-2-5131

健康相談

広島県北部保健所(三次市十日市東)で実施する健康相談です。事前に電話でご予約ください。秘密は厳守します。

心の健康相談

ストレスうつ病などの心の健康に不安のある方やその家族からの相談に応じます。
とき 1月22日(火) 13時〜14時
○エイズ検査・相談
検査は無料・匿名で受けられます。結果はその日にお知らせできます。相談は随時受け付けています。
とき 2月13日(水) 13時〜14時30分
申し込み・問い合わせ
広島県北部保健所保健課
0824-63-5181

募集

レベルアップスポーツ教室(スキー教室参加者募集)
市民の方に、スポーツに親しみ、健康づくりと競技力の向上を目指してもらおう「レベルアップスポーツ教室(スキー教室)」を開催します。
初心者から上級者、レース志向の方まで広く募集します。
とき 1月27日(日)
ところ ひろしま県民の森スキー場
費用など
参加費は無料ですが、昼

食・リフト代が次のとおり必要です。

- 小・中学生の初心者 1500円
- 小・中学生 2000円
- 高校生・一般 2500円
- 申し込み期限 1月18日(必着)
- 申し込み・問い合わせ 生涯学習課スポーツ振興係
0824-73-1196
- 庄原市体育協会事務局(庄原市総合体育館内)
0824-72-6880

「備北のかがやきvol.8」 広生掲載店舗募集

備北の観光パンフレット「備北のかがやきVol.8(春夏編)」を、今春4月に発行します。現在、このパンフレットの広告掲載店舗を募集しています。(1月31日(木)締切)
詳しくは、事務局までお問合せください。

問い合わせ
備北観光ネットワーク協議会事務局
0824-44-3855



求職者支援訓練生募集

PALキャリアスクール三次校では、雇用保険を受給できない求職者などを対象に、厚生労働省の認定を受けた職業訓練を実施しています。平成25年3月訓練生を募集します。

募集内容

- 訓練科名 簿記パソコンビジネス基礎科【基礎コース4カ月】
- ※認定番号 4-24-34-01-00-0151
- 訓練期間 3月25日(月)～7月24日(水)
- 訓練時間 9時30分～16時10分
- 訓練科目
 - 学科/パソコン知識、会計基礎、商業簿記、給与計算基礎、職業能力開発基礎講習、職業人講話、安全衛生
 - 実技/パソコン基本操作、文書作成基礎実習、表計算基礎実習、ビジネス文書作成応用実習、表計算応用実習、パソコン給与、商業簿記実習、パソコン会計
- 受講料 無料(教材費9,575円程度必要)
- 定員 15人 ■申込締め切り 1月29日(火)

選考方法など

- 日時/2月12日(火)9:30～
- 場所/PALキャリアスクール三次校
- 選考方法 面接・筆記試験
- 結果通知日 2月15日(金)

まずは住所地を管轄する公共職業安定所(ハローワーク)へご相談を!

※ハローワークへお問い合わせの際は、認定番号をお伝えください。

訓練内容に関するお問い合わせ

PALキャリアスクール三次校 ☎0824-64-7654
〒728-0014 三次市十日市南1丁目4-5ステーションプラザビル2階

催し

スノーフェスタinくちわ

かまくらや、雪だるま作り、もちつき、そりジャンプ大会、雪をかき分けてのお宝探し「雪中宝探し大会」など、雪と遊ぶメニューがいっぱい。思いっきり雪を楽しもう!
とき 1月27日(日)
ところ 金尾原元スキー場
問い合わせ スノーフェスタinくちわ実行

委員会

☎0824-89-2325

雪合戦ひろしまin高野

雪遊び&グルメを楽しもう!
西日本最大規模の「スノー合戦」。日本雪合戦連盟の公式ルールに則り、1チーム7人の選手が、コート内のシエルトに身を隠しながら相手の選手めがけて雪球を投げます。選手だけでなく観戦しても楽しめる大会です。

その他

2日目は、雪中宝探しや雪上ムカデ競争など雪遊びイベントが盛りだくさん。そして恒例となった、おいしい漬物とあたたかい鍋のグランプリも同時開催します。
雪合戦、雪遊び、グルメなどお楽しみ満載の白銀の世界へ気軽に挑戦してください。
とき 2月2日(土)・3日(日)
競技開始 1日目 12時45分、2日目 9時45分

償却資産の申告は1月31日までに

固定資産税の課税対象となるものには、土地や家屋のほか償却資産があります。会社や個人で工場や商店などを経営している人で、その事業のために用いる機械器具、備品などが課税の対象となります。

このような償却資産を所有する会社や個人は、毎年1月1日現在の所有状況について、1月31日までに償却資産が所在する市町村へ申告することになっています。期限までに忘れず申告してください。

ただし、次の場合には固定資産税は課税されません。

- ▼耐用年数1年未満または取得価額10万円未満の償却資産で、一時に損金または必要な経費に算入された場合
- ▼取得価額が20万円未満の償却資産を一括して3年間で、損金または必要な経費として処理した場合(一括償却)

▼償却資産の課税標準額の合計額が150万円未満である場合など

問い合わせ

税務課資産税係 ☎0824-73-1144

在宅高齢者の家族介護を支援します

介護慰労金の支給
寝たきりなど重度の介護を必要とする高齢者を、在宅で介護している方の負担を軽減するために、慰労金を支給します。

支給要件

- ①市内に住所があり、現に居住している人
 - ②要介護度4または5の人
 - ③在宅で介護が必要な状態にある人
- 支給額 在宅で介護した月数に応じて、月額4千円を支給します。(医療機関、介護保険施設などに月の初日から末日まで入院、入所していた月は除く)

申請に必要なもの

①申請書(居宅介護支援事業者などの確認印が必要です)

広島県の最低賃金が変わりました

広島県最低賃金が10月1日から719円(時間額)に変わりました。県内で働くすべての労働者に適用されます。年齢・性別・雇用形態(臨時・パート・アルバイトなど)を問いません。また、製鉄業などの7業種の最低賃金も次のとおり改正されました。

業種	最低賃金額
製鉄業、鋳物などの製造業	834
金属製品製造業	802
はん用機械器具等製造業	809
電子部品、電気機械器具等製造業	769
自動車・同附属品製造業	790
造船業	831
自動車小売業	787
各種商品小売業	(770)

※平成24年12月31日から発効(「各種商品小売業」は改正されていません。)

問い合わせ
広島労働局賃金室 ☎082-221-9244
三次労働基準監督署 ☎0824-62-2104

ところ 高野スポーツ広場
問い合わせ 大会事務局(高野支所産業建設室)
☎0824-86-2113

その他

統計調査にご協力を
お願いします
今年10月に実施される住宅・土地統計調査は、住宅や空家の戸数、住宅の広さや設備、最寄りの医療機関や公園までの距離など、住環境の状況を調査し、住生活関連施策に生かすための調査です。

この調査に先立ち、調査の準備作業として、区域内にある住宅の数や居住の有無などの確認を行います。期間中、準備事務を行う職員(指導員)が訪問することがありますが、皆さまのご協力をお願いします。
実施期間 1月中旬～2月上旬
問い合わせ 企画課政策推進係
☎0824-73-1112

国民の声と熱意で四島(しま)返還

政府は、毎年2月7日を「北方領土の日」と定め、国を挙げて北方領土返還要求運動を進めています。
私たち一人一人の声を結集し、みんなで協力し合って北方領土の早期返還を実現させましょう。

問い合わせ

北方領土返還要求運動広島県民会議(広島県環境県民局県民活動課内)
☎082-513-2721

一人でも悩まないで 必ず相談してください。

業務のご案内

- 不動産の名義変更 ●成年後見
- 相続登記・遺言 ●会社の登記
- 借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等
- 詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士

司法書士 飯田 一生

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号) (広島司法書士会所属)
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 パルナシユB2階 TEL0824-72-2315(要予約)

まほろばの里で野鳥観察ができます
市は、帝釈自治振興区と共同で帝釈峡まほろばの里に2基のえさ台を設置し、ヒマワリやトウモロコシの種を給餌しています。これは、冬のえさ不足を補って、野鳥を保護するためのものです。
冬の間、交流促進センターのデッキから、えさ台に集うヒヨドリやシジュウカラを観察することができます。
問い合わせ 時悠館
☎08477-6-0161

25年春オープン

中国山地のどまんなか
道の駅 たかの

正社員・パート 募集

- 業務内容/厨房(責任者)・レストラン(ホール・調理) 食品加工・売場管理・清掃・総務・経理
- 時間帯/7:00～22:00(シフト制)
- 勤務地/庄原市高野町 ■募集要件/年齢・性別不問
- 募集期間/平成25年1月25日まで

株式会社 緑の村 ☎0824-86-2323 電話受付時間 平日9:00～17:00
広島県庄原市高野町南257 http://www.ogidani.co.jp

あっぱれ 庄原

全国レベルの大会出場者、全国・県レベルの大会、市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

【全国大会】

- 全日本高等学校女子サッカー選手権大会 (1月11日～17日 静岡県磐田市)
- 小林 美菜(広島文教女子 大高3年・東城町)
- 渡邊安佑実(岡山県作陽高 3年・東城町)

【中国大会】

- 全日本高等学校女子サッカー選手権大会 (中国地域予選)
- (11月17日～18日 鳥取市)
- 優勝 小林 美菜(広島文教女子 大高3年・東城町)
- 準優勝 渡邊安佑実(岡山県作陽高 3年・東城町)
- 中国なぎなた選手権大会 (11月4日 徳山市)
- 競技演技(小学低学年の部)

【県大会】

- 第4位 稲里 孝美(西城小4年)
- 上貝 真帆(西城小4年)
- 試合競技(小学低学年の部) 準優勝 上貝 真帆(西城小4年)
- (広島翔洋高2年・川手町)
- 東 朱里

【その他】

- 備後地区生徒児童発明くふう展
- 自由作品部門 松本賞
- 伊折 星那(総領小6年)
- 庄原市長賞
- 佐々木悠人(東城中1年)
- 庄原市教育委員会賞
- 伊奈実咲輝(西城小1年)
- 庄原商工会議所会頭賞
- 荒木 康助(美古登小3年)
- 課題作品部門 特賞 楠部 夕夏(庄原小4年)
- 団体賞 広島テレビ放送賞
- 東城小学校

広島県歯の衛生週間 表彰

- 図画・ポスターの部 入賞 神田真梨子(永末小6年)
- 標語の部 入賞 横谷 愛結(高野小5年)
- 標語の部 (応募1331作品) 最優秀賞 田藤 百葉(東城小1年)
- 『あいさつを するとこころが ぼつかばか』

●作文・詩の部

- (応募41作品) 最優秀賞 西山牙弥乃(庄原小5年)
- 『命の大切さ』 優秀賞 塩音 諒輔(口北小4年)
- 沼田 彩花(庄原中3年)
- 小濱 由衣(庄原中2年)
- 絵画・詩画・ポスター・写真の部 (応募1277作品) 優秀賞 宇山 知弥(庄原小5年)
- 植木佳那子(庄原中2年)

●中学校の部(27チーム)

- 女子一般の部(6チーム) 優勝 Teamにくきゅう
- 女子中学校の部(9チーム) 優勝 三和中学校
- 男子一般の部(34チーム) 優勝 クロカンクラブA
- 市内の部(20チーム) 優勝 クロカンクラブA
- 市内の部(34チーム) 優勝 庄原消防署
- 市内の部(34チーム) 優勝 庄原赤十字病院A

●高等学校の部(3チーム)

- 高等学校の部(3チーム) 優勝 Team Shojuis
- 高等学校の部(3チーム) 優勝 庄原実業高等学校
- 高等学校の部(3チーム) 優勝 庄原特別支援学校B
- 高等学校の部(3チーム) 優勝 広島大学病院
- 高等学校の部(3チーム) 優勝 庄原消防署
- 高等学校の部(3チーム) 優勝 庄原赤十字病院A

冬咲きぼたん展

備北丘陵公園 だより

1月12日(土)～2月28日(木)開催

問い合わせ 備北公園管理センター 0824-72-7211 (<http://www.bihoku-park.go.jp/>)

新年あけましておめでと ういごします。新春のイベントをご紹介します。

冬咲きぼたん展

公園の冬の風物詩「冬咲きぼたん展」を開催します。このぼたんは、通常4月～5月に咲くところを、低温庫へ入れて開花時期を調整し



冬季に開花するように育成されたもので、島根県松江市八束町の太根島で生産されています。

展示作品は、鉢植えにわらの冬囲い、コモをかぶせ、風情のある情景をつくりだします。雪をまとった様子は一段と風情があります。冬景色に咲き広がる華やかな彩りをお楽しみください。

※温度変化で開花時期を調整する抑制技術は八束町の特許として申請されており、年間約250種類、150万本が生産され国内外に出荷されています。

貸自転車(レンタサイクル)、1日乗り放題 実施中!

通常は2時間まで大人250円、小人100円のところ、同じ料金で時間の制限なく乗ることができ、自転車乗り放題サービスを期間限定で実施しています。

ちよつと寒いけど、サイクリングを楽しんでみませんか? ペダルを踏んで血流促進、体も暖まること間違いなし。親子で周回数をカウントするのも楽しいかも。

※電動自転車およびオートキャンプ場の貸自転車は対象外です。

【対象期間】

2月28日(木)までは土日祝を含む全開園日。3月1日～31日は開園日の平日のみ対象

開催日 1月12日(土)～2月28日(木)

※月曜日は休園 (休日の場合は翌日休園)

ひばの里「さつやま屋敷」

【お詫びと訂正】

広報しようばら12月号の28ページで誤りがありました。次のとおり訂正するとともに、深くお詫びいたします。

- 庄原市文芸大会 (誤)庄原市長賞 石川素風 (正)庄原市長賞 石田素風

【ひばの里 冬の歳時記】

この時期ならではのイベントをひばの里で開催します。とんど焼き

無病息災を祈願して、園内を装飾していた正月飾りを豪快に焼き上げます。

- 開催日 1月14日(月祝) 12時点火
- 豆餅つき
- 煎った黒豆の香ばしい風味が最高です。ぜひお召し上がりください。
- ※先着100人の方にもちの振る舞いがあります。

正月遊具で遊ぼう

羽子板、すごろく、かるた、和風など昔懐かしい遊具で遊べます。

開催日 1月31日(木)まで

住友不動産の“新築そっくりさん”

古民家に新たな息吹、美しき再生。

フリーダイヤルでお気軽にお問い合わせ下さい。 0120-356-218

住友不動産 新築そっくりさん 広島東営業所

ホームページからも資料の請求ができます。 <http://www.sokkuri3.com/>

新築そっくりさん で 検索

「この社会あなたの税がいきている」

インターネットで申告・納税できる e-Tax (国税電子申告・納税システム)

利用推進運動中 <http://www.e-tax.nta.go.jp>

めざます よき経営者による 正しい納税で 企業の繁栄と社会への貢献 社団法人 庄原法人会

〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内) TEL 0824-72-1889 (FAX兼用) HP: <http://www.i0.ocn.ne.jp/~shk/>

人の動き

平成24年11月末日現在

【住民基本台帳登録人口】

人口 39,572人(前年比-636人)
 男 18,690人(前年比-390人)
 女 20,882人(前年比-246人)
 世帯数 16,001世帯(前年比-204世帯)

【うち外国人】

人口 292人(前年比-21人)

ふれあい市長室の日程

☎情報政策課広報広聴係 ☎0824-73-1159

とき 2月9日(土) 9時~12時

ところ 西城支所

●ふれあい市長室は3月をもって終了します。

※公務により実施できない場合もあります。

※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、事業担当課へお願いします。

市税・水道料金・下水道使用料納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。

※残高確認も忘れないでください。

●税務課収納係 ☎0824-73-1145

●下水道課管理係 ☎0824-73-1175

●水道課庶務係 ☎0824-73-1197

市役所ロビーコンサート

☎生涯学習課文化振興係 ☎0824-73-1189

とき 1月28日(月)12時15分~55分

ところ 市役所1階市民ホール

出演者 淀川 亜沙(ピアノ)

豊原 愛(ヴァイオリン)

演奏曲目 モーツァルト作曲 ピアノソナタK283

ドヴォルジャーク作曲 ユモレスク ほか

よどかわ あさ
淀川 亜沙…武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ科卒業後、ザルツブルグにてイェルク・デームス氏に師事。これまでにリサイタルをはじめ多くのピアノコンサートや室内楽コンサートに出演。また外来のオーケストラとも共演する。現在、三次音楽家協会、みよし児童合唱団の代表を務める。三次市在住。

らよはら あい
豊原 愛…エリザベト音楽大学を経て3年次から飛び級で同大学院へ入学。首席で卒業。その後、渡欧しプラハアカデミーにて学ぶ。三次市在住。

広報日記

今回特集でご紹介した皆さんは、共通しているところが多いなあと感じました。それは土づくりであったり、減農業であったりする部分もそうですが、何よりも「こういうコメを作りたい」という明確な目標と熱意を持たれていること。そして努力を惜しまず、それを継続されていることです。皆さんをお手本に、この一年目標を定めて取り組んでいきたいと思ひます。(興)

犬・猫の引き取り

☎環境政策課 ☎0824-72-1398

1月・2月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。なお、手続きには認印が必要ですので、持参してください。

	引き取り日	時間	場所
庄原地域	毎月第2・4水曜日 1月9日・23日	9:00~ 9:30	市役所車庫
東城地域	2月13日・27日	10:40~11:10	東城支所 正面駐車場

※飼い犬・猫の引き取りは有料です。

献血のご案内

☎保健医療課医療予防係 ☎0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
1月31日(木)	庄原市役所	10時~11時30分 12時30分~15時

食育コーナー

☎農業振興課農業振興係 ☎0824-73-1132

「食」と「農」で交流 食農ネットワーク庄原

郷土料理の味と技術を伝承

市内の認定農業者や農産加工技術者、青空市などの農産物直売実践者や消費者などの代表者など11人の委員で組織する「食農ネットワーク庄原」は、現在、地域資源である「食」と「農」を活用した交流事業を中心に、農業振興と地域活性化の研究・提案・企画・実践活動を行っています。

本年度の活動では、新鮮な庄原産農産物を活用した交流事業として、庄原の「食」と「農」の大切さを地域や消費者に発信することを目的に12月3日、「漬物伝承講座」を食彩館しょうばらゆめさくらで開催しました。

当日は、市内各地域から30人が受講。会の委員で、前JA庄原女性部庄原支部長の吉田幸枝さん(川北町)が講師となり、庄原地域で古くから受け継がれている「漬物づくり」を通して、ふるさとに伝わる味と技術を、次の世代へ伝承しました。

近年、「食」の安全・安心がクローズアップされるなか、「食農」「食育」が注目されています。今後も、「食農ネットワーク庄原」では、生産者と消費者をつなぐ交流事業を中心に、庄原市の「食」と「農」に関するさまざまな実践活動を行っていきます。



帝釈峡博物展示施設 時悠館 ☎08477-6-0161

9時~17時 休館日:水曜日(祝日開館、翌日休館)・年末年始

サヌカイトと黒曜石



中国地方の旧石器時代や縄文時代には、ナイフや石鏃(矢じり)のような鋭い刃を必要とする石器の材料に、サヌカイトと黒曜石がよく使用されていました。

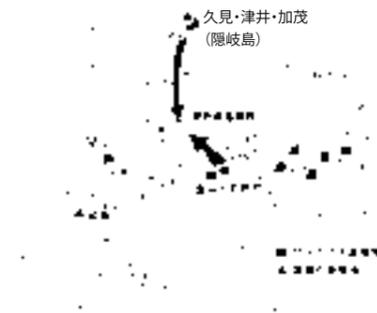
帝釈峡遺跡群の縄文時代の石器を、蛍光X線を用いた方法(鉱物の元素組成を分析)で調べてみると、瀬戸内海や日本

海を渡ってサヌカイトや黒曜石が入ってきていることがわかりました。サヌカイトは、もともとは讃岐石(香川県でよくみられる石)で、黒っぽい色をしています。黒曜石は自然のガラスで、隠岐島(島根県)のものは黒色、姫島(大分県)のものは乳白色(灰色)をしています。これらの石は硬く、打ち割ると鋭利な縁辺ができ、そのままでも切ることが可能です。

また、いずれも産地が限られ、中四国地方ではサヌカイトは香川県の金山・五色台周辺と広島県の冠山周辺、黒曜石は島根県の隠岐島と大分県の姫島が知られています。

帝釈峡遺跡群では、香川県の金山・五色台産サヌカイトと島根県の隠岐島産黒曜石が多く使用されています。

縄文時代の交通手段は歩くか、海上では丸木舟のようなものしかありませんでしたが、これらの石材から、何千年以上も前から物資の流通網や情報網が発達していたことがわかります。



石材原産地と帝釈遺跡群への供給図

休日診療のご案内

1月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域

月日	診療所名	電話番号
1月13日(日)	河本医院	0824-75-0311
14日(月)	笠間医院	0824-72-0535
20日(日)	林医院	0824-72-0121
27日(日)	藤野医院	0824-72-4646
2月3日(日)	毛利医院	0824-72-2863
10日(日)	庄原赤十字病院	0824-72-3111

●東城地域

月日	診療所名	電話番号
1月13日(日)	日伝医院	08477-2-2180
14日(月)	東城病院	08477-2-2150
20日(日)	瀬尾医院	08477-2-0023
27日(日)	三上クリニック	08477-2-1151
2月3日(日)	東城病院	08477-2-2150
10日(日)	細川医院	08477-2-0054

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX

★2月の展示案内★ 庄原子ども美術館絵画教室作品展

8日(金)~10日(日)10時~17時

☎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453

☎商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178

※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はおりません。

食彩館しょうばら ゆめさくら ☎0824-75-4411

【1月~2月のイベント情報】

▶ゆめさくら講座

○草木染め教室

「シルクストールを染める」

とき 1月21日(月)

朝の部 9時~12時

昼の部 13時30分~15時30分

参加費 4,900円

定員 各10人

○かずら教室

「かずらのランプシェード作り」

とき 1月25日(金)

朝の部 9時30分~12時

昼の部 13時~15時30分

参加費 2,100円

定員 各15人

▶展示・その他

○手仕事・里山の干支展

とき 1月30日(水)まで

○第19回広島県児童牛乳ポスターコンクール受賞作品展

とき 2月1日(金)~11日(月・祝)

【営業時間の変更】

閉館時間 17時(3月まで)

1月4日(金)~3月末日まで

(朝どり市は通常どおり16時)

しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市

出店者募集中!あなたのお店を開こう。

毎月20日が出店申込締め切りです。

申し込みは 交流サロンラッキー ☎0824-72-0075

2月 とき 2月9日(土)9時~13時
 ところ 中本町商店街周辺
 (のぼりが目印)

詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.main.jp>

Vol.39
雪映えのうろこ雲と
りんごの樹



(平成 24 年 12 月 12 日撮影)

高野に冬がやってきました。今年には天候に恵まれ、コメもりんごも豊作だったとのこと。芽吹きから収穫まで、生命力に溢れにぎやかだった風景が一変。町はこれからしばらくの間、静寂の季節を迎えます。

撮影日の2日前、全国ニュースでも取り上げられるほどの降雪があり、高野はあつという間に白銀の世界になりました。つい先月まで、多くのお客さまが訪れていた町内のりんご園も。写真は、うろこのような雲と整然と並んで休息のときを待っている樹々の対比が面白く、シャッターを押した一枚です。

高野に移住してちょうど一年。寒暖の差が大きく、自然の厳しさも感じる日々ですが、四季折々に「ふるさと」を感じさせてくれる高野の風景が大好きです。
檀上 理恵(高野町)

応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。

応募先
〒727-18501
庄原市中本町一丁目10番1号
庄原市情報政策課広報広聴係
☎0824-73-1159
メール koho@city.shobara.hiroshima.jp

庄原産の食材を扱うお店を応援します！



おいしいものは
庄原市地産地消推進店
地元にある!!

お食事処 花ほぼろ

所 新庄町 291-1 (ゆめさくら内)
☎ 0824-75-4516
営 10時～18時 (OS.17時30分) (4月～12月)
10時～17時 (OS.16時30分) (1月～3月)
休 火曜日(祝日の場合は翌日)
HP <http://www10.ocn.ne.jp/~yumesaku/>
<http://www9.ocn.ne.jp/~gws/>

取り扱う市内産食材

米、そば、野菜、どんぐり豚、果実、卵 など

登録
第16号店

庄原駅	
庄原市役所	かんぼの郷庄原
	★
中国自動車道 至広島	至大阪

★店長の久保さんに聞きました★

- なぜ、地産地消推進店に登録しようと思ったのですか？
ゆめさくらは庄原産の旬にこだわった地産地消のお店で、当店で使用している食材の多くを朝どり市、ミート工房から仕入れています。来店されたお客さまに庄原の旬を召し上がっていただき、庄原産の食材をPRするために登録しました。
- お店の推進店としてのこだわりは？
庄原の旬と食材にこだわっています。野菜はその日に朝どり市に出荷されたものを使用し

ており、コメも特産店で精米したてのものを使用しています。そばは一木産のそば粉を使用しており、毎朝打ちたてのそばをご賞味いただけます。

●皆さんへひと言

庄原のコメは味もよくすばらしい一品だと思います。ふっくら炊き上げたお米に高野町産のりんごを贅沢に使用したカレーライスはおススメです。また2月3日の節分には、花ほぼろオリジナルの巻き寿司も販売予定ですので、ご注文お待ちしております。



カレーライス(700円)と旬菜そば(700円)

『庄原市地産地消推進店』に登録しませんか？ 市は随時、地産地消推進店を募集しています。

詳しくは、保健医療課健康推進係(☎0824-73-1255)まで。